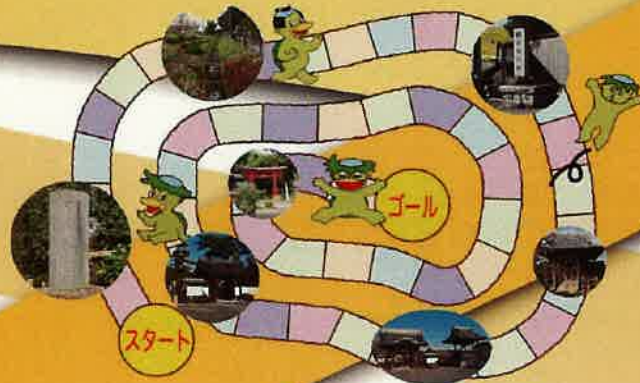


パネル展

すごろく de 城下を歩こう



6月27日 火 ▶ 9月24日 日

当館は、江戸時代の関宿城の御三階櫓の記録を基に建てられた博物館です。現在、城が建てられていた場所には、関宿城址の碑が立てられています。このような立地にあることから、当館では毎年、関宿城下を歩く体験教室を年に数回実施しています。

このたび、その体験教室をもとに、関宿城下の史跡を写真パネルで巡る参加型の展示、パネル展「すごろく de 城下を歩こう」を開催することになりました。すごろくをする事で、史跡に出かけたような気分を味わって、郷土の歴史に触れていただければ幸いです。

展示風景



3階
多目的室が
会場だよ。



すごろくで巡る
城下町の地図だよ



サイコロをふって
ここからスタート!

サイコロは
ここでふってね!



あがりまで行くと
御城印シールが1枚
もらえるよ!



写真パネルと
すごろくの指示

⑤



関宿関所跡 (江戸町)

江戸時代初期、幕府は江戸川の渡船場に関所を建て、関宿藩に管理を任せて通行人や船の積荷を改めさせました。これは江戸町側にあった仮番所の跡です。

「入り鉄炮に出女」って言って江戸に武器が入らないように
武家の奥方が江戸から逃げ出さないように取り締まったんだよ。



逃がさないぞ



奥方じゃないよ

-   なら①にもどる
-    なら⑦に進む
-  なら5マス進む

⑥



随庵堀・随庵碑

船橋随庵は江戸時代末期の関宿藩士の治水家で、土木技術や農政にも通じていました。随庵は嘉永元年(1848)から嘉永3年(1850)にかけて農業用水の取入れと排水路を整備しました。これが随庵堀と呼ばれ現在でも用水路として使われています。画面中央の石碑はその功績をたたえたものです。

⑦



昌福寺

天長5年(828)に創建された真言宗の寺で、築田氏が関宿城を築城した際に水海(みずうみ)村(現古河市)から移築したものです。寺内にある不動堂は文化15年(1818)に後藤安五郎常善による木彫りの彫刻が施されています。

随庵さんは無実の罪で牢屋に入れられたんだよ。
それで、自分の血で無実のあかしの手紙を書いたんだよ。
(よい子はマネしないでね)

ひん血で 1回休み



随庵さんの気持ちに
なって「おじつだよ」と
空気に書いてからサイコロ
をふるう

明王殿を10回
書いてからサイコロ
をふるう

明王殿



-    なら⑧に進む
-    なら1マス進む

第20代関宿藩主 久世広運が「明王殿(みょうおうてん)」
と揮毫した額がお寺の正面にかかっているんだよ。